## 3 - 6 関東・東海地域における最近の地震活動(1985年5月~10月) Recent Seismic Activities in the Kanto-Tokai Area (May - October, 1985)

国立防災科学技術センター

National Research Center for Disaster Prevention

防災センターの観測点分布を第1図に、代表観測点における日別地震回数を第2図に示す。 また、月別震源分布および深さ別震央分布を第3図、第4図に示す。

この期間の注目すべき地震活動を以下に摘記する。なお、主な地震活動の詳細については本 巻別報を参照されたい。

(1) 関東地方の東方沖には M5 以上の下記の地震が発生し、地震活動は比較的高かった。

5月11日 19:40 37.14° N 141.74° E H = 12 kmM = 5.3 (JMA)14:58 36.37° N 8月6日  $141.10^{\circ} E \qquad H = 43 \text{km} \qquad M = 5.0 \text{ (JMA)}$ 10月4日 H = 78 km06:28 $34.82^{\circ} \text{ N}$ 141.01° E M = 5.510月13日 02:2136.66° N 141.35° E H = 26kmM = 5.2

また、6月下旬には、銚子北方に M = 3.8 (JMA) を最大とする群発活動があった。

(2) 関東地方の内陸部には、10月4日の千葉・茨城県境の地震をはじめ、通常の地震活動があまり高くない場所に下記の目立った地震が発生した。

6月8日 140.26° E 01:29 35.56° N H = 64 kmM = 4.8 (JMA)7月11日 23:58 35.93° N 140.26° E H = 37 kmM = 4.2 (JMA)140.11° E 10月4日 21:25 35.91° N H = 72 kmM = 6.1 (JMA)10月26日 15:14 36.22° N 140.36° E H = 61 kmM = 4.4

また、9月から10月にかけて、那須岳付近を震源とする最大 M=3.5(JMA) の群発活動があった。

- (3) 伊豆半島東岸では、3月に始まった群発活動が5月すぎまで継続したが(最大 M=2.9、 JMA)、 $10\sim11$  月にはさらに新たな群発活動が発生した(最大 M=3.8)。また、8月には、真鶴岬付近に微小地震が頻発した(最大 M=1.5)。
- (4) 伊豆諸島では、伊豆大島付近  $(7 \sim 8 \, \text{月})$  最大 M = 2.7, JMA)、八丈島付近  $(7 \, \text{月})$  最大 M = 4.2, JMA)、新島付近  $(9 \, \text{月})$  最大 M = 3.4)に群発活動が見られた。
- (5) 駿河湾に下記の地震が発生した。

9月13日 07:58 34.73°N 138.54°E H = 19 km M = 3.9 (JMA)

(6) 新潟県の十日町付近に下記の地震が発生した。

10月20日 07:55 37.14°N 138.74°E H = 5 km M=3.1

- (7) 長野県の松本付近で、7月に最大 M = 2.7 (JMA) の群発活動があった。
- (8) 1984 年長野県西部地震の余震は、ひき続き多数観測されている。この間の最大余震は7月25日の M = 3.9 (JMA) である。
- (9) 群馬県北部,東京都西部に見られる浅い震源の集団は、ほとんどが発破によるものである。

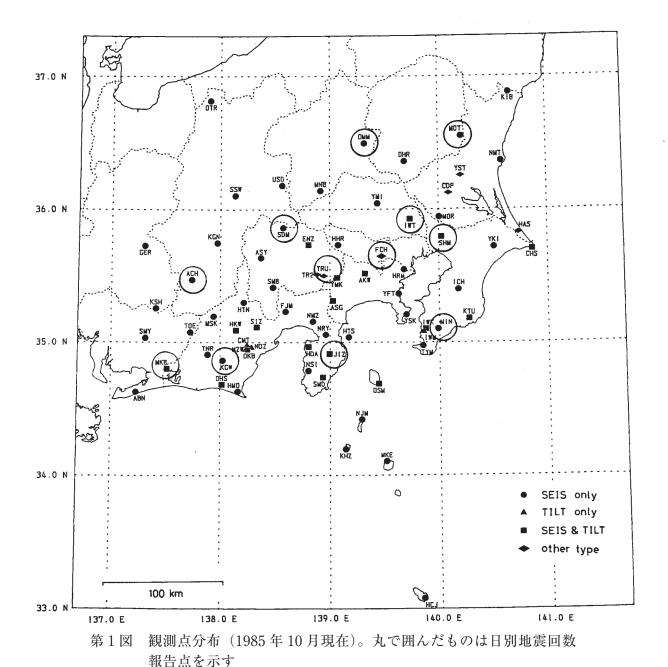
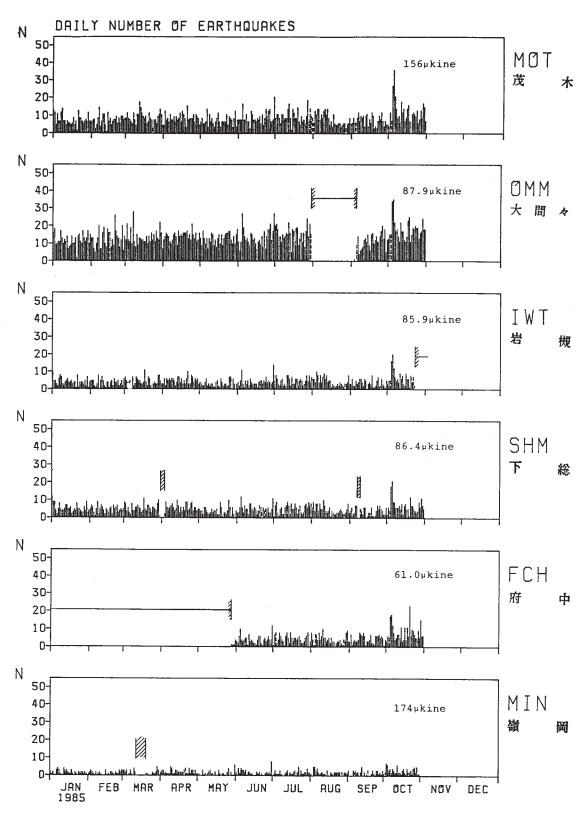
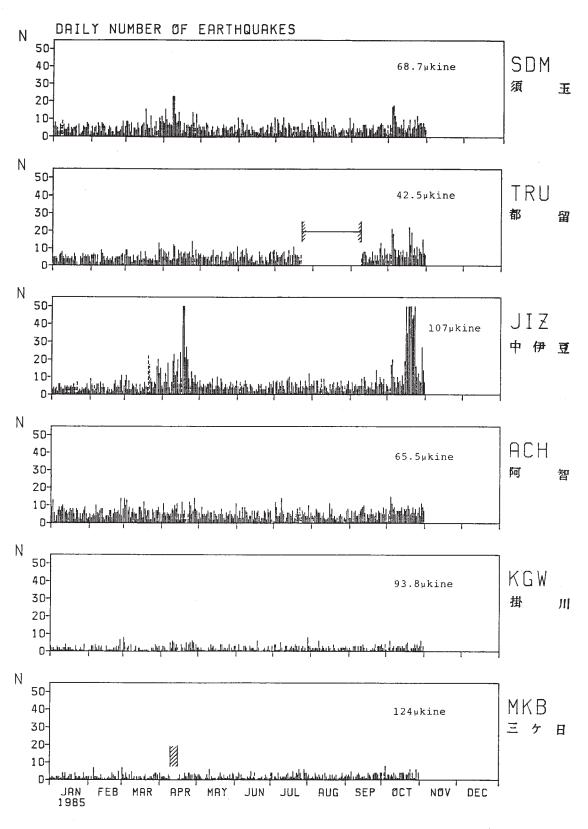


Fig. 1 Distribution of the observation stations as of October 1985. Daily frequency of earthquakes is reported for the encircled stations.



第2図 観測点ごとの日別地震回数。数値は計数された地震の振幅下限, 斜線部は長期欠測, 破線は1日以内の欠測を示す

Fig. 2 Daily frequency of earthquakes for the representative stations which are shown in Fig. 1. Numerals are threshold levels of the maximum amplitude for counting the number of earthquakes. Broken bars and shaded portions mean partial breaks of observation within one day and more than one day, respectively.



第2図 つづき Fig. 2 (Continued)

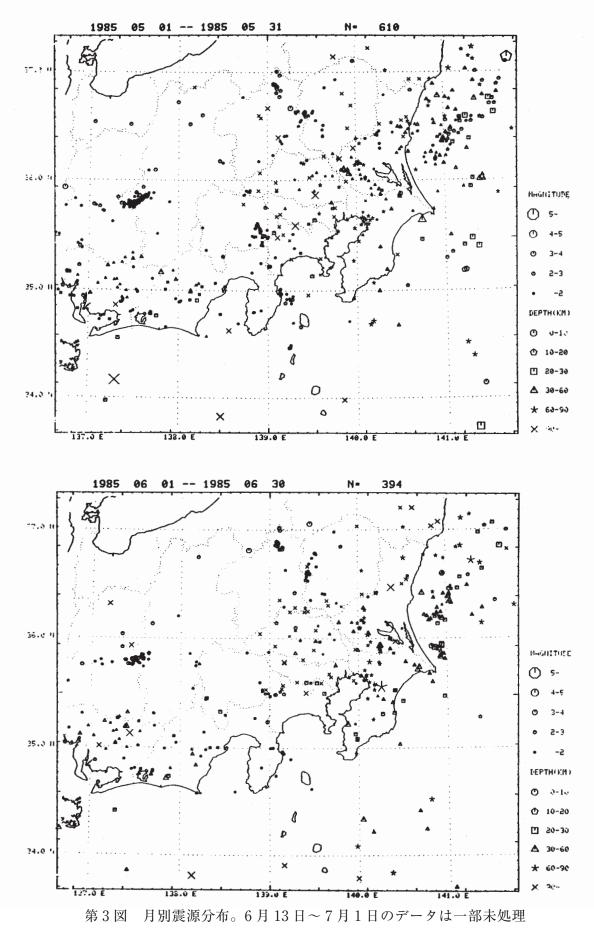
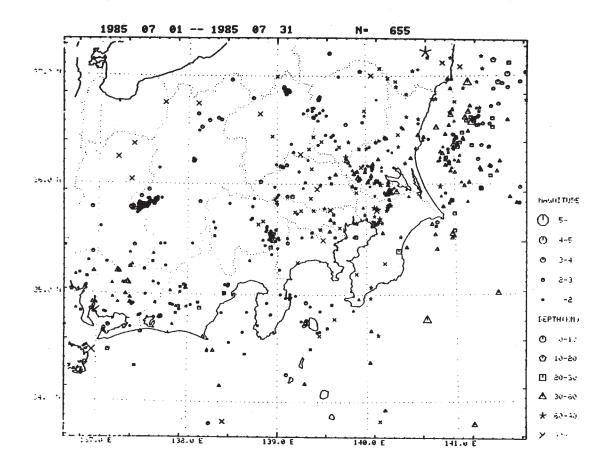


Fig. 3 Monthly plot of hypocenters. Data processing is not yet completed for June 13 - July 1.



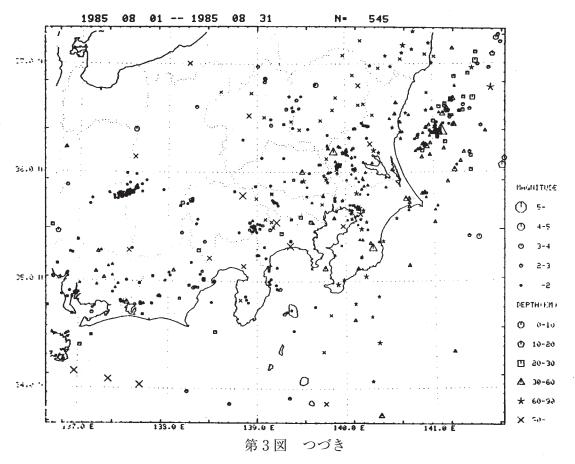
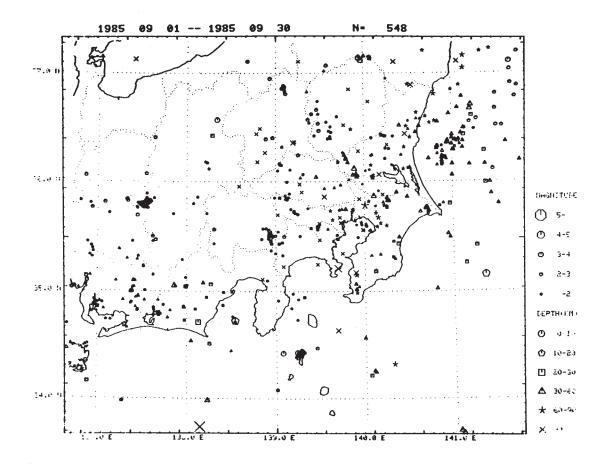


Fig.3 (Continued)



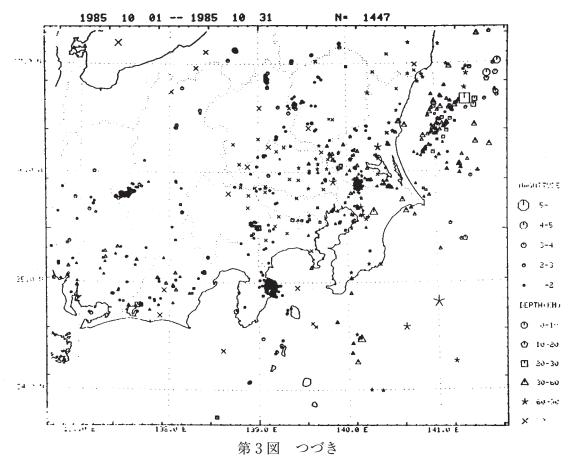


Fig. 3 (Continued)

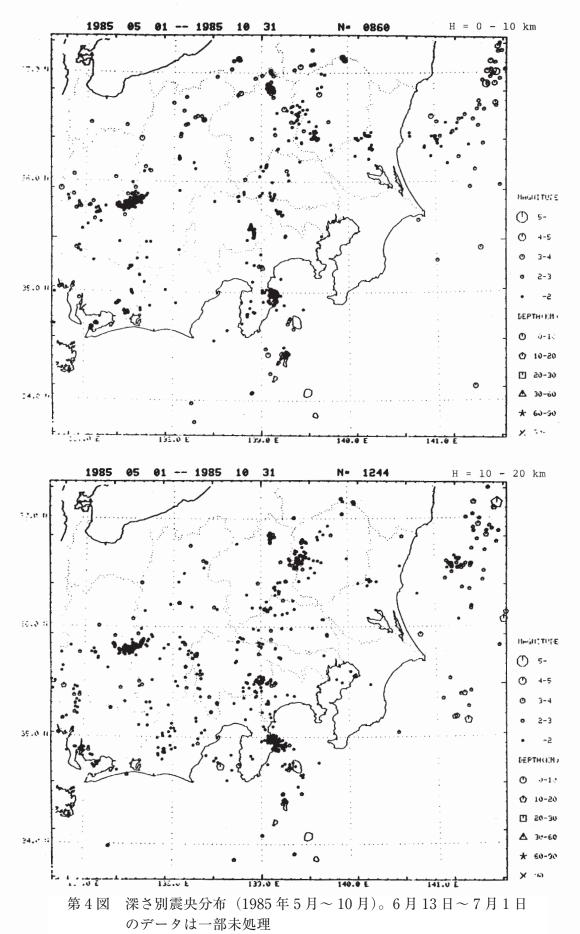
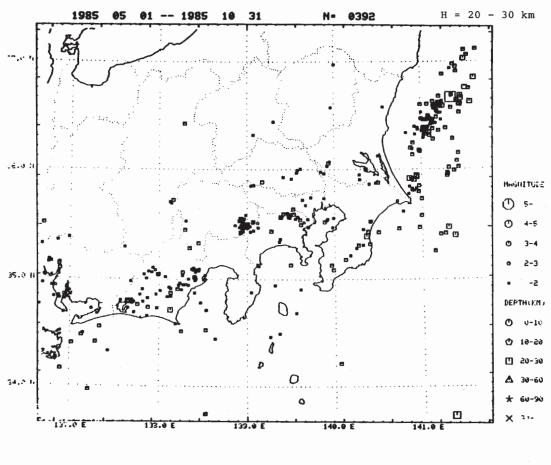


Fig. 4 Epicenter distribution for different depths (May - October, 1985). Data processing is not yet completed for June 13 - July 1.



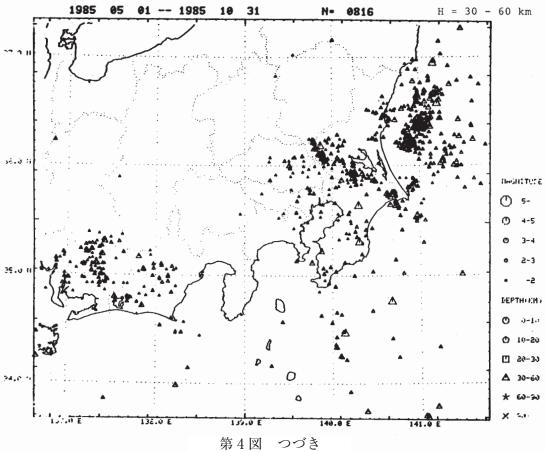


Fig. 4 (Continued)

